

# 口輪コンサルティング基礎研修

モジュール 1-8

[www.caniseguros.com](http://www.caniseguros.com) · Etsy-Shop: HellCanis

## 目次

01. モジュール 1 - マズルアドバイザーの基本、応用分野、役割
02. モジュール 2 - 銃口装着時の医学的側面とリスク
03. モジュール 3 - 神話、コミュニケーション、飼い主の心理
04. モジュール 4 - 採寸、フィット、ベルトの計画
05. モジュール 5 - 完璧なフィット感: フィッティング、チェックリスト、日常使用への適合性
06. モジュール 6 - 日常生活におけるマズルのトレーニング、慣れ、扱い方
07. モジュール 7 - 材料チェックと変換措置
08. モジュール 8 - 法的枠組み、責任、文書化

基礎訓練

銃口のアドバイス

モジュール 1～8

会社名: カニセグロス | Etsy ショップ: HellCanis

[www.canisegros.com](http://www.canisegros.com) - 当店では口輪とDIYに関するすべてを見つけることができます。

## モジュール 1 - マズルアドバイザーの基本、応用分野、役割

### 1.0 モジュールの目標

このモジュールの後、参加者は次のことができるようになります。

- 動物福祉の観点から銃口がなぜ意味があるのかを説明し、
- 典型的な応用分野（医学、トレーニング、法律、日常の状況）を挙げてください。
- 銃口とトレーニングツールを明確に区別し、
- Canisegros の銃口コンサルタントとしての自分の役割 (倫理と責任) を理解してください。

### 1.1 そもそもなぜ銃口があるのでしょうか？

銃口は「懲罰的な道具」ではなく、安全と保護の道具です。

- 人や他の動物を咬傷から守ります。
- 犬を自分自身から守ります（例：食中毒/毒餌の場合）、
- 銃口がなければ危険すぎる状況を可能にします。

重要:

銃口はトレーニング、医学的評価、飼い主の責任に代わるものではありません。行動したりトレーニングしたりするための安全な環境を作り出すだけです。

## 1.2 典型的な応用分野

### 1.2.1 医療状況

銃口は多くの医療状況で必要かつ役立ちます。

急性期の治療:

獣医の診察、傷の手当て、注射、包帯の交換、痛みを伴う検査。犬はその状況から逃れることができず、痛みや不快な操作に耐えなければなりません。ぴったりフィットした銃口はスタッフ、飼い主、そして犬自身を守ります。

慢性的/再発する状況:

慢性的な痛みのある犬（変形性関節症、背中の問題、神経疾患、てんかんなど）、定期的な医療処置が必要な犬（包帯の交換、目薬、耳掃除など）、麻酔から目覚めて方向感覚を失ったり、イライラしたりする犬、包帯、漏斗、ボディースーツを繰り返し外す犬。口輪は、犬が痛み、恐怖、または圧倒されて折れたり、自分自身を傷つけたりするのを防ぐことができます。犬を必要以上に強く拘束することなく、安全なケアが可能です。

### 1.2.2 日常生活と毒餌

もう1つの主な応用分野は、日常および環境の状況です。

- 毒餌の危険性が知られている地域を歩く。
- 見つけたものはすべて食べる犬（「掃除機犬」）
- 危険な摂取をしやすい犬（生ゴミ、腐肉、糞便、石）。適切な銃口（おそらく抗給餌変換付き）を使用すると、次のことが可能になります。
- 異物の吸収を大幅に軽減または防止できます。
- 並行して、反摂食トレーニングと信頼性の高い停止信号にも取り組む必要があります。ここでも銃口は訓練に代わるものではありませんが、それまでの間、犬をよりよく保護できるという安心感をもたらします。

### 1.2.3 トレーニングと行動上の問題

銃口は、以下の場合に重要なツールです。

- 不安、恐怖、またはすぐに圧倒される犬、
- 噛みつき事件の過去のある犬、
- 明確に損害を与える意図を持った犬

- 特定の状況（資源防衛、犬と犬の衝突、人間と犬の衝突など）では制御が難しい犬。

銃口:

- 環境（人、他の動物）を保護し、
- 噛みつきによる被害から犬を守ります。
- 有意義なトレーニングを実施できる安全なフレームワークを作成します。重要: 口輪は行動医学的評価やトレーニングの代替品ではありません。これらは、トレーニングを可能にし、関係者全員にとってより安全なものとなる安全コンポーネントです。

### 1.3 限界: 銃口はトレーニングツールではありません

口輪は保護および安全ツールであり、犬を罰したり「和解」させることを目的としたものではありません。

動物福祉に従わない例は次のとおりです。例:

- 犬が喘ぐことができないように意図的にきつく調整された口輪、
- 永続的な痛みを引き起こすことを目的とした銃口
- 脅しとして銃口を使用する（「そんなことをしたら口輪をはめられるよ」）。

適切に使用された銃口:

- あえぎ、飲酒、および可能な限り正常な行動が可能になります。
- 徐々にそして積極的に構築され、
- 状況に応じて本当に必要な場合にのみ着用してください。

### 1.4 カニセグロにおけるマズルアドバイザーの役割

Canisegros の口輪コンサルタントは単なる販売員ではなく、動物福祉、安全性、フィット感の専門家です。

あなたの目標は常に次のような解決策を見つけることです。

- 犬を可能な限り保護します (喘ぎ声、呼吸、皮膚の健康、素材の選択)、
- 人や他の動物を確実に守り、
- 法的要件（銃口の要件、所有者の義務）が考慮され、

- オーナーの日常生活に現実的に取り入れることができます。銃口を売るとは良いアドバイスの結果であり、主な目標ではありません。犬の安全と健康、そして環境の安全に常に焦点を当てています。

## 1.5 境界のコミュニケーション

コンサルタントは明確かつ透明性のあるコミュニケーションを行う必要があります。

- 銃口を付けても問題行動は治りません。怪我を防止し、トレーニング、管理、医療介入のための安全なフレームワークを構築します。
- 犬が喘ぎ声を上げられなくなるように銃口を調整してはいけません。それは動物福祉に反し、健康にも危険です。
- 場合によっては追加のサポートが必要になります。B. トレーナー、行動獣医師、または獣医師による。

アドバイスの例文:

- 「銃口は問題を解決するものではありません。トレーニングや医学的評価によって原因に取り組む間に誰かが怪我をするのを防ぐだけです。」
- 「犬の息が上がるのを銃口で止めてはいけません。私たちは犬が安全であることを確認しますが、それでも十分に呼吸でき、快適に感じるすることができます。」
- 「この犬については、あらゆる面をカバーできるよう、トレーナーと獣医師に協力してもらうことをお勧めします。」これは、マズルコンサルタントの専門的で動物福祉指向の役割が最初から明確に定義されていることを意味します。

## モジュール 2 - 銃口装着時の医学的側面とリスク

### 2.0 モジュールの目標

このモジュールの後、参加者は次のことができるようになります。

- なぜ犬にとって喘ぎ声が不可欠なのかを説明し、
- 銃口の適合が不十分または不適切であることによる医療リスクを特定する
- 不適切な装着によって引き起こされる典型的な皮膚や組織の損傷を検出し、
- 銃口を使用する前に、いつ獣医師の検査が必要かを教えてください。
- 医療問題における獣医師の役割と獣医師の役割を明確に区別します。

### 2.1 喘ぎと体温調節

犬はほぼもっぱら喘ぎ声によって体温を調節します。口や舌から素早く吸ったり吐いたりすることで水分が蒸発し、体を冷やします。人間とは対照的に、犬は皮膚から非常に限られた範囲でしか汗をかくことができません。したがって、喘ぎを著しく制限する銃口は、医学的観点からすると重大なリスクです。特に犬が次のような場合に問題が発生します。

- 口を大きく開けることができない、
- 舌をうまく出すことができず、
- 全体的に空気循環が少なすぎます。

結果として次のようなことが考えられます。

- 過熱、さらには熱射病、
- 強い循環緊張、
- パフォーマンスの低下、衰弱、崩壊。そのため、犬が口輪を付けた状態で目に見えて喘ぎ、舌を突き出すことができるかどうかを確認することが、フィットチェックのたびに必須となります。特に暑いときや肉体的な負担がかかっているときはそうです。

## 2.2 ツボ、皮膚、褥瘡

マズルが適切にフィットしていないと、頭のさまざまな部分、特に鼻梁、頬、ストラップの下、喉の掛け部分に圧迫や擦れが生じることがあります。

考えられる影響は次のとおりです。

- 皮膚の赤みや刺激、
- 切れ毛やハゲ跡、
- 擦れた箇所、しだれ箇所、
- 慢性炎症性皮膚変化、
- 深い褥瘡（褥瘡）、
- 極端な場合には、組織の死（壊死）が起こります。湿気（唾液、水、雨）や汚れは問題を悪化させる可能性があります。皮膚バリアが損傷すると、細菌感染、真菌感染、いわゆる重複感染のリスクが高まります。したがって、コンサルタントは常に既存の古い圧力点を文書化し、モデル、サイズ、室内装飾品を選択する際にはそれらに特に注意を払う必要があります。

## 2.3 呼吸器系と熱ストレス

喘ぎによる体温調節に加えて、気道自体も重要な役割を果たします。特に短頭種の犬（パグやフレンチブルドッグなどの鼻の短い犬種）は、とにかく呼吸の予備力が限られていることがよくあります。銃口が不適切だと、空気の流れがさらに難しくなる可能性があります。

考えられる問題:

- 吸うときと吐くときの追加の抵抗、
- 鼻や口の開口部が狭くなる、
- 特に暑さやストレス下では呼吸仕事量が増加します。外気温が高い場合、銃口の金属や表面もかなり熱くなる可能性があります。暗い、ゴム引きされている、または厚くコーティングされた銃口は、明るいまたは地金の表面よりも太陽の下で著しく暖かくなることがよくあります。

したがって、アドバイザーは所有者に次のことを指摘する必要があります。

- 銃口を炎天下に放置しないように、
- 装着する前に銃口の温度を手で軽く確認し、

- 太陽によくさらされる犬の場合は、より軽い、または熱吸収の少ない表面を選択してください。

## 2.4 その他の医学的側面

痛み 痛みは重要な要素です。痛みのある犬は、防御行動や噛みつきで反応する可能性が高くなります。ここでは銃口は重要な安全コンポーネントとなり得ますが、痛みの原因の解明と治療に代わることはできません。神経疾患 神経疾患（てんかん、特定の脳疾患など）は、発作、意識障害、または突然の制御不能を引き起こす可能性があります。このような段階では、スタッフ、飼い主、犬自体を守るために銃口が合理的な場合もあります。同時に、根本的な病気を常に明らかにし、獣医師によって治療を受ける必要があります。循環器系の問題 循環器系に問題がある犬は、ストレス、熱、緊張に対してより敏感に反応することがあります。マズルの適合が不十分だと、循環虚脱のリスクが大幅に高まる可能性があります。このような場合は特に注意が必要であり、獣医師の診断を受けることをお勧めします。

## 2.5 医学的禁忌/獣医師の要件

状況によっては、銃口を使用する前に獣医師の診断を受けることが不可欠です。アドバイザーは、銃口が無害であると完全に断定したり、独自に判断したりすることはできません。

禁忌または獣医師の要件の例:

- 既知の心臓または重度の肺疾患、
- 倒れる傾向やけいれんを伴う神経疾患の疑い、
- 銃口がなくてもひどい息切れ、
- 頭、首、口、鼻、喉に対する最近の手術や怪我、
- 重度の短頭種の呼吸器疾患。このような場合、日常生活や訓練中に口輪を使用する前に、担当の獣医師に相談することをお勧めします。

コンサルタントに提案できる文言は次のとおりです。

「以前の病気や呼吸の問題により、獣医師が銃口の使用を承認することが重要です。それができて初めて、最終的に銃口を調整します。」

## 2.6 医療問題に関するコンサルタントの役割

マズルコンサルタントは、自身は獣医師ではなく、動物保護、実践的な日常生活、医療の間の接点で働いています。これは次のことを意味します。

- 典型的なリスク（喘ぎ、圧迫ポイント、呼吸の問題）を認識し、それに対処します。
- 医療リスクが可能な限り軽減されるようにモデルとサイズを調整します。
- ただし、診断や治療の決定は行わず、それは依然として獣医学の責任です。獣医師との緊密な連携は非常に理にかなっています。獣医師が医学的な決定を下す一方で、コンサルタントは銃口の選択、フィッティング、トレーニングについて診療チームにアドバイスをすることができます。

## 2.7 主要なステートメント モジュール 2

- 犬にとって喘ぎ声は極めて重要です。銃口がそれを大幅に制限してはいけません。
- マズルが適切に適合していないと、褥瘡や壊死などの重大な皮膚や組織の損傷を引き起こす可能性があります。
- 短頭種の犬や健康上の問題のある犬には特別なケアが必要で、多くの場合獣医師の許可が必要です。
- 相談の際には、熱、材質の選択、銃口の表面温度を考慮する必要があります。
- マズルコンサルタントは医療情報を扱いますが、獣医師としてではなく、リスクを認識し、必要に応じて人々を紹介します。

# モジュール3 - 神話、コミュニケーション、飼い主の心理

## 3.0 モジュールの目標

このモジュールの後、参加者は次のことができるようになります。

- 銃口にまつわる通説や偏見を認識し、
- これらを技術的に正しく、同時に共感的に反論し、
- 飼い主の典型的な感情や恐怖に適切に反応し、
- 明確で落ち着いたプロフェッショナルなコミュニケーションスタイルを開発し、

## 3.1 銃口に関する典型的な通説

銃口に対する多くの懸念は感情的なものです。マズルコンサルタントとして、これらの通説を知り、それに備えることが重要です。

一般的な例は次のとおりです。

- 「口輪を付けるのは危険な犬だけです。」
- 「口輪を付けると犬はより攻撃的になります。」
- 「銃口は動物虐待です。」
- 「うちの犬はそんなことには我慢できないよ。」
- 「口輪を付けると人々は私たちを笑います。」
- 「銃口がついていれば、もうトレーニングする必要はありません。」これらの文章が純粋に事実であることを意図していることはほとんどありません。その背景には、恥、不安、評価への恐怖、そして適切にフィットした銃口が何を達成できるかについての知識の欠如があることがよくあります。

## 3.2 最も重要な神話の技術的分類

「口輪を付けるのは危険な犬だけです。」実際、人を噛んだことがないにもかかわらず、口輪をしている犬はたくさんいます。理由には、例えば、法的規制、毒餌のリスク、医療状況や日常生活における責任（人口密集地域、公共交通機関、危険な遭遇時など）が含まれます。銃口は安全ツールであり、「危険を知らせるシール」ではありません。「口輪を付けると犬はより攻撃的になります。」実際には、その逆のことが判明します。噛むことができなくなって飼い主が安全だと感じると、飼い主はより落ち着いて明確な行動をするようになります。犬は人間に対して非常に向いています。人間の緊張が低下すると、犬の緊張も低下することがよくあります。銃口がよくフィットし、痛くないことが重要です。「銃口は動物虐待です。」銃口のフィット感が悪く、息苦しくなったり、痛みを引き起こしたりすることは、動物福祉に関わる可能性があります。一方、適切にフィットした銃口は、喘ぎながら水を飲むことを可能にします。

そして可能な限り通常のコミュニケーション。これは犬と環境を保護するものであり、したがって動物虐待というよりは動物保護ツールです。「うちの犬はそんなことには我慢しないよ。」多くの犬は最初は口輪が珍しいと感じます。それは普通のことです。落ち着いてスモールステップでアプローチし、積極的に関わることで、大多数の犬は銃口をうまく受け入れられます。最初の抵抗は、犬が「決して学習できない」という兆候ではなく、むしろ訓練と慣れが必要であることを示しています。「口輪を付けると人々は私たちが笑います。」ここで焦点を当てているのは、判断されることや誤った判断に対する飼い主の懸念です。しかし、銃口は「誰かがここで責任を負っている」という信号を送ることもあります。今では多くの人が銃口をプロ意識と慎重さの表れだと考えています。「銃口がついていれば、もうトレーニングする必要はありません。」銃口は怪我を防ぎますが、根本的な行動を自動的に変えるわけではありません。オートパイロットではなくシートベルトです。犬が問題行動を示した場合、訓練、管理、そして必要に応じて医学的評価が依然として重要です。

## 3.3 顧客との対話における回答例

技術的に正しいだけでは十分ではありません。重要なのは、メッセージがホルダーにどのように受け取られるかです。以下の定式化は、神話に友好的かつ明確に答える方法の例です。俗説: 「うちの犬は口輪を付けるとより攻撃的になる」

考えられる答え:

「そのようなことはよく聞きます。実際にはその逆です。犬が噛んではいけないとわかっているならば、飼い主はよりリラックスし、犬もそれに気づきます。銃口がぴったりとフィットし、痛くないことが重要です。そうすれば、犬はより危険ではなく、より安全だと感じます。」俗説: 「口輪を付けるのは危険な犬だけである」

考えられる答え:

「多くの犬は、人を噛んだことがないにもかかわらず、口輪をつけています。たとえば、毒餌のため、獣医に行ったとき、バスで義務付けられているからです。口輪は、犬が『悪い』かどうかについては何も語ません。それは、あなたが責任を負っていることを示しています。」俗説:「銃口は動物虐待である」

考えられる答え:

「口輪は、フィット感が悪かったり、きつすぎたりすると、実際に問題を引き起こす可能性があります。私たちの目標はまったく逆です。犬ができるだけ普通にあえぎ、水を飲み、動けるように口輪を調整します。そうすれば、銃口は拷問ではなく保護されます。」俗説:「うちの犬はそんなことには我慢しないだろう。」

考えられる答え:

「多くの犬は最初は懐疑的ですが、それはごく普通のことです。私たちは、たくさんのご褒美を与えながら少しずつ口輪を組み立てていきます。そうすることで、あなたの犬は口輪 = 何も悪いことではなく、多くの場合良いことさえも学ぶことができます。私たちは単に犬を強制的に挿入するのではなく、犬を連れて行きます」

「準備する時間はあります。」通説:「銃口がついていれば、もうトレーニングする必要はない。」

考えられる答え:

「銃口はシートベルトのようなものです。何かが起こった場合に保護しますが、運転の学習に代わるものではありません。トレーニングと管理によって根本原因に取り組みながら、怪我を防ぐことができます。」

### 3.4 飼い主の感情への対処

反対意見の多くは、技術的な問題というよりもむしろ感情的な問題に関するものです。

オーナー側の典型的な感情は次のとおりです。

- 残念です（「うちの犬には口輪が必要なので失敗しました。」）、
- 他人から判断されることへの恐怖（「みんな私の犬は危険だと思っている」）、
- 犬への心配（「これは犬を傷つけませんか？」）、
- 圧倒する（「自分一人でどうやってやればいいのかわからない」）。カウンセラーとして、これらの感情を軽視するのではなく、真剣に受け止めることが重要です。ここでの共感とは、誰が「正しい」かについて議論することではなく、耳を傾け、反映し、知らせること

を意味します。

役立つ基本的な態度:

- 率直に尋ねてください（「銃口について最も心配していることは何ですか？」）、
- 感情に名前を付ける（「他人の目を気にしているようですね。」）、
- それをポジティブに再解釈してください（「私にとって、これはあなたが自分の犬を非常に責任を持って扱っていることを示しています。」）。

### 3.5 コンサルティングにおけるコミュニケーションスタイル

プロフェッショナルなコミュニケーションスタイルは信頼を築き、対立を避けるのに役立ちます

避ける。重要な要素は次のとおりです。

- 専門用語ではなく、明確でシンプルな言葉、
- 「あなた」の非難（「あなたは...しなければならない」）の代わりに、「私」のメッセージ（「私は...をお勧めします」）、
- 具体的な例と比較（例：「シートベルト」、「安全ヘルメット」）、
- 穏やかで感謝の姿勢（ホルダーの上に「立たない」）、
- 質問や懸念事項については時間を設けてください。目的は、飼い主が説教されたり無視されたりするのではなく、真剣に受け止められサポートされていると感じることです。

### 3.6 通信の制限

どんなに優れたコミュニケーションにも限界があります。状況によっては追加のものが必要になる場合があります

専門家:

- 重大な行動上の問題（重度の咬傷が繰り返される）の場合: トレーナーまたは行動獣医師に相談してください。
- 医学的原因が疑われる場合（痛み、神経学的問題、息切れ）: 獣医師に相談することが不可欠です。
- 深刻な精神的ストレスにさらされている飼い主の場合（重大な事件の後など）: 慎重に取り扱い、必要に応じてより小さなステップと数回の面談を行ってください。重要: コンサルタントは、単独ですべてを解決するために存在するのではなく、専門家のネットワークの一

員です。自分の限界を知ることはプロ意識の表れです。

### 3.7 主要なステートメント モジュール3

- 銃口に関する通説は、単に事実が間違っているだけではなく、感情的な影響を受けていることがよくあります。
- コンサルタントは専門的な議論と同時に共感的な会話を必要とします。
- 適切な例文と比較により、所有者を見つけやすくなります。
- 恥、恐怖、不安などの感情は真剣に受け止め、対処する必要があります。
- 専門的なコミュニケーションとは、境界を知り、必要に応じて他の専門家を巻き込むことを意味します。

## モジュール 4 - 採寸、フィット、ベルトの計画

### 4.0 モジュールの目標

このモジュールの後、参加者は次のことができるようになります。

- Canisegros の測定指示に従って、関連するすべての銃口と頭囲を正確に測定してください。
- これらの測定値がモデルとサイズを選択にどのように組み込まれるかを理解する
- スロートラッチ、ネック/クロージャーストラップ、オーバーヘッドストラップ、安全首輪を賢明に計画します。
- 特殊なケースを考慮します（例：下顎が突き出ている、超小型犬、短頭種の犬）。
- 測定値を書面と写真で文書化し、典型的な測定エラーを回避します。

### 4.1 マズル測定の概要と原理

銃口のフィット感は慎重な測定によって決まります。これは「どの銃口でもおおよそフィットする」というものではなく、個々の犬の頭にどの銃口の形状とサイズが適合するかを体系的に決定するものです。犬種名はあくまで目安です。たとえば、ダルメシアンは、頭の形が適していれば、いわゆる「ジャーマンシェパードモデル」によく適合します。犬種名ではなく、犬の実際の寸法とプロポーションが常に重要です。このモジュールでは、これらの測定値を確実に収集して文書化する方法を説明します。

### 4.2 測定ツールと準備

正確な測定には、いくつかの適切な器具が必要です。

- 柔軟な巻尺 (仕立て屋の巻尺)、
- 直線用の定規または長い定規/折り定規、
- 必要に応じて、値を直接文書化するためのペンと測定シート。

可能であれば、犬は次のことを行う必要があります。

- 静かな環境で立ったり座ったり、
- 必ずしもラッシュや試合状況から来たものではありませんが、
- パニックにならずに頭を触ることができます。犬の頭にほとんど触れられない場合、これはすでに訓練の必要性を示しており、リスクが増加している可能性があります (セクション 4.7 の危険信号を参照)。そのような場合、トレーナーや獣医師の協力が必要になる場合があります。

## 4.3 キャッチの測定ポイント

バスケットのサイズを選択する基準は、銃口と頭のいくつかの測定値です。これらは、カニセグロの測定指示 (「Guía de medidas」) に基づいています。

### 4.3.1 キャッチの長さ

マズルの長さは、鼻の先端からマズルが終わるべき点、通常は目の直前までの距離を測定します。測定は銃口 (鼻梁) の上部に沿って行われます。

手順:

- 定規または巻尺を鼻先に置きます。
- 測定は、鼻筋に沿って銃口の終点、通常は目の直前で銃口が頭部に結合する位置まで行われます。
- 値はセンチメートル単位で記録されます。

### 4.3.2 キャッチ範囲

キャッチの円周はマズルの幅にとって重要です。これは、銃口の最も厚い部分、通常は鼻の先端と目の間の約中間、銃口が最も強い部分で測定されます。

手順:

- 犬は銃口を閉じたままにします。
- 口をさらに締め付けることなく、メジャーを銃口の周りに一周置きます。
- 巻尺はぴったりとフィットする必要がありますが、切り込みを入れないようにしてください。
- 値はセンチメートル単位で記録されます。このサイズは、犬が銃口を付けたまま喘ぐことができるように、銃口が前方と側面にどのくらいのスペースを提供する必要があるかを後で決定します。

### 4.3.3 キャッチ幅

マズル幅は、前部領域でマズルの幅がどれくらい必要かに関する情報を提供します。マズルの最も広い部分（左から右）にわたって測定されます。

手順:

- 定規または巻尺を銃口全体の最も広い部分に置きます。
- 値はセンチメートル単位で記録されます。マズルの幅は、マズルが非常に広い犬（モロッカー、幅広の雄犬など）にとって特に重要です。これにより、マズルの側面が制限されすぎないようにになります。

### 4.3.4 ヘッド長/ヘッドプロポーション

停止点 (額と鼻梁の間の移行部) から後頭部までの距離を記録することも役立ちます。この頭の長さは、目を妨げずに銃口が頭の方にどれだけ伸びることができるかを推定するのに役立ちます。

### 4.3.5 特殊なケース: 下顎の突出

下顎が突き出ている犬（例：多くのモロシヤ犬や短頭種）の場合は、測定値を調整する必要があります。ここでキャッチの長さは次のように測定されます、

下顎の突出が考慮されていること。

手順:

- 鼻の先端から下顎が最も突き出ている点までの寸法を測定します。
- 原則として、この値に追加マージンとして約 **0.5 センチメートル (0.5 cm)** が追加されます。これにより、銃口が前方の突き出た下顎を永久に挟んだり擦れたりすることがなくなります。

### 4.3.6 パンティング係数 (係数 1.5 / 1.3-1.4)

犬が銃口で喘ぐためには、銃口に十分な深さと周囲が必要です。実証済みのガイドは、いわゆるパンティング要因です。

基本原則:

- キャッチ（口を閉じた状態）の周囲を測定します。
- パンティングから必要な解放を得るには、この円周の約 **1.5 倍** を銃口内のターゲットスペースとして計算します。通常、係数 **1.5** により、犬が口を開けて舌を突き出すのに十分なスペースが確保されます。実際には、非常に小型の犬の場合は、捕獲量が少なく、絶対移動

距離が短いことが多いため、1.3 から 1.4 の係数で十分な場合があります。ここでは、経験と個々の頭と銃口の形状を批判的に観察することが重要です。

## 4.4 ベルトの長さの測定と計画

バスケット自体に加えて、ストラップも銃口のフィット感、安全性、快適さに重要です。それらは常に犬の体で測定され、それに応じて銃口に合わせて調整または調整されます。

### 4.4.1 スロートベルト

スロートラッチは、首の下の一方の耳の下の付け根からもう一方の耳の下の付け根まで伸びています。銃口が目に向かって滑り上がるのを防ぎますが、喉頭を圧迫したり窒息させたりしてはなりません。

手順:

- 犬を立たせた状態で、首の下の左耳の付け根から右耳の付け根までを巻尺で測ります。
- 巻尺は、喉のラッチが後で配置される場所、つまり敏感な領域に直接ではなく、喉頭のわずかに後ろに置く必要があります。
- 測定値はその後のベルト長さの目安となります。

### 4.4.2 ネットク/閉鎖ストラップ

首または固定ストラップは、耳の後ろ、耳の下の一方の基部からもう一方の基部まで、頭蓋骨屋根のすぐ後ろに通されます。ここは、銃口を頭に固定するメインの留め具が配置されている場所です。

手順:

- 頭の後ろの耳の底からもう一方の耳の底までを測ります。
- メジャーは、後で固定ストラップが通る場所、つまり首からあまり離れていない、耳のすぐ後ろにあります。
- この値はストラップの長さの基準として使用され、バックルにある程度の余裕が加えられます。

### 4.4.3 オーバーヘッドストラップ

オーバーヘッドストラップは主に脱皮を防ぐために使用されるのではなく、特に鼻の高い犬（ボクサーなど）の場合、バスケットが鼻筋や鼻のスポンジの上に直接置かれないように、銃口の前部をわずかに持ち上げるために使用されます。

長さを決定する手順:

- 開始点は、鼻の部分にあるワイヤーバスケットの上部前部、つまり目の前にある部分です。
- そこから、頭の上の目の間の仮想線に沿って、締め付けストラップの幅までを測定します。
- これにより、頭に負担をかけずにバスケットを簡単に持ち上げるために必要なオーバーヘッドストラップの長さが決まります。

#### 4.4.4 安全首輪

安全カラーは、コネクタを介して銃口に接続される別個のカラーです。犬が銃口を完全に外すことができなくなるのを防ぐためのものです。重要: リードはこの首輪に取り付けられることはありません。リード首輪としてではなく、ストッパーとして機能します。

長さを決定する手順:

- 測定は、首の一番高い端、耳の後ろの比較的近くの上で直接行われます。
- メジャーは、後で安全首輪が設置される位置に通します。比較的高い位置で、通常の首輪よりもきつめですが、窒息することはありません。
- この値は安全環を調整するために使用されます。これは、後で短いストラップまたはコネクタを使用して銃口に結合されます。

## 4.5 ノーズパッドとバリエーション

ノーズパッドは鼻梁を圧力から保護し、接触面を分散します。Canisegros は、屋外での使用に適したフォーム製の個別に調整されたノーズパッドを使用しています。

重要なバリエーション:

- 狭い鼻パッド - 目と鼻筋の間にスペースがほとんどない犬用。
- 通常の鼻パッド - 多くの犬の標準バージョン、
- ノーズパッドの延長 - マズルをわずかに後方に延長し、接触面を増やし、ノーズとバスケットの間により多くのスペースを作ります。

マズルがきつい場合や鼻梁が非常に敏感な場合は、ノーズパッドを伸ばすと効果があります。各モデルに合わせてカスタマイズされています。

## 4.6 文書と写真による文書

すべての測定値は、測定プロトコル (カニセグロ測定シートなど) に直接記録する必要があります。写真付きのドキュメントも非常に役立ちます。

推奨事項:

- 銃口の長さを測定している犬の側面図 (測定テープが見える)。
- 周長測定時の正面図 (巻尺が見える)。
- オプション: 後で形状を評価するために、銃口を除いた頭部の写真。これらの写真はプロトコルに割り当てられ、後の修正、苦情、またはその後の調整のための貴重な情報を提供できます。

## 4.7 測定時の危険信号

測定中のいくつかの観察はコンサルタントの注意を引く必要があります

特に目覚める:

- 犬は頭を触られることをまったく拒否し、パニックや極度のストレスを示します。
- 頭は明らかに非対称に見えます (片側の形状がもう一方の側とは異なる)。
- 以前の銃口からの古い圧力ポイントがすでに目に見えています (はげた斑点、傷跡、変色した皮膚、肥厚した領域)。このような点は議事録に記載すべきである。所見によっては、銃口を集中的に使用する前に獣医師やトレーナーの協力を得ることも合理的です。

## 4.8 主要なステートメント モジュール 4

- 優れたフィット感は、品種の指定ではなく、正確な測定から始まります。
- マズルの長さ、マズルの周囲、マズルの幅、ヘッドのプロポーションによって、適合するモデルとサイズが決まります。
- 喘ぎ係数 (銃口の周囲の約 1.5 倍、超小型犬の場合はおそらく 1.3 ~ 1.4 倍) により、喘ぎから十分に解放されます。
- ストラップ (喉のストラップ、ネックストラップ、オーバーヘッドストラップ、安全首輪) は犬の体で測定され、個別に調整されます。
- ノーズパッドは圧力を軽減し、銃口を「長く」し、敏感な鼻を保護します。
- 文書と写真による記録は必須です。危険信号は真剣に受け止め、必要に応じてさらに明確にする必要があります。

## モジュール5 - 完璧なフィット感: フィッティング、チェックリスト、日常使用への適合性

### 5.0 モジュールの目的

このモジュールの後、参加者は次のことができるようになります。

- マズルを正しく装着し、徐々に調整してください。
- 構造化されたチェックリストを使用して適合性を評価し、
- 重要な問題の兆候 (圧迫、滑り、喘ぎの自由が少なすぎる) を認識します。
- 保有者に毎日の簡単なチェックリストと5秒チェックを提供し、
- モデルまたはサイズを変更する必要がある場合は、賢明に決定してください。

### 5.1 取り付けの準備

適切なフィッティングは、マズルを装着するときだけではなく、その準備から始まります。目的は、犬ができるだけ落ち着いてリラックスできるようにすること、そして飼い主が何が起きているのかを段階的に理解できるようにすることです。

Before trying on, the following should be clarified:

- whether the dog already has muzzle experience (positive or negative),
- whether there is current pain, illness or recent injury,
- 犬がその状況で適切に固定されているかどうか (必要に応じてリードや介助者)。犬が試着中にあまりいじらなくて済むように、試着する前に口輪自体を適切なストラップの長さにごまかに調整する必要があります。

### 5.2 段階的に作成する

ドッキングは可能な限り落ち着いて日常的に行う必要があります。The less hectic the handling, the more relaxed the dog usually remains.

一般的な手順:

- 犬をしっかりと立たせるか座らせます。
- 最初は銃口を見せて、少しだけ匂いを嗅いでもらいます（犬が許可する場合）。
- 前方から冷静にカゴを獲物に導き、慎重に獲物をカゴに導きます。
- 片手でバスケットを所定の位置に持ち、もう一方の手でネックストラップを耳の後ろで閉じます。
- スロートラッチを閉じて、サポート的でありながら窒息しないように調整します。
- 銃口が鼻の上にある場合は、オーバーヘッドストラップ (存在する場合) を閉じて調整します。
- 最後に、ストラップを常に「引っ張る」ことなく、すべてのストラップを再調整します。

重要: 第一印象は重要です。可能であれば、犬に事前に銃口の感覚を教える必要があります (モジュール 6 - 銃口のトレーニングを参照)。

## 5.3 「完璧にフィット」チェックリスト

After putting it on, it is systematically checked whether the muzzle really fits well.以下の点はアドバイザー向けの中核となるチェックリストを形成し、後でオーナー向けの配布資料として簡略化された形式で使用できます。

### 5.3.1 視野と目

銃口が犬の視野を不当に制限したり、目を圧迫したりしてはなりません。

確認してください:

- 正面から見ると、両目は見えていて自由ですか?
- 側面からチェックしてください: バスケットの上端がまぶたの領域に直接または永久に接していませんか? バスケットが高すぎて目の部分に滑り込む場合は、正しく調整されたスロートストラップまたはオーバーヘッドストラップを使用すると、バスケットを少し低く安定させることができます。

### 5.3.2 鼻と鼻筋

鼻と鼻筋は非常に敏感です。ここで銃口を永続的または選択的に押しつけてはなりません。

確認してください:

- 鼻筋とバスケットの間を指で注意深く触ってください。まだ「空気」が残っていますか?

- 鼻パッドはありますか? 片方の端がこすれるだけでなく、完全に柔らかくフィットしますか?
- 短期間着用すると、鼻筋の周りの皮膚が赤くなったり、へこんだように見えますか? 銃口が鼻梁の上にある場合は、延長または異なる形状の鼻パッド、オーバーヘッドストラップ、または場合によっては別のモデルが必要になる場合があります。

### 5.3.3 頬と唇

銃口が頬を過度に圧迫しないようにしてください。一部の接触は正常ですが、深くくぼみや永続的なシワは、ぴったりとフィットしていることを示している可能性があります。

確認してください:

- 横に目を向けてください。バスケットの支柱は頬に対して比較的平行になっていますか、それとも強く押し込まれていますか?
- 口を開けたときに唇や皮膚がつままれたり、ひどく潰されたりしていませんか? わずかな圧力の問題がある場合は、チークバー上のワイヤーマズルを慎重に曲げることで軽減することができます。ただし、カゴが目に見えて変形している場合は、曲がり = 変換 → 原則返品・交換対象外となります。お客様は事前にこれを行う必要があります

be explained.

### 5.3.4 スロートとスロートラッチ

スロートラッチは銃口を安定させることを目的としていますが、喉頭を締め付けてはなりません。位置が低すぎたり狭すぎたりすると、咳、窒息、呼吸障害が発生する可能性があります。

確認してください:

- スロートラッチは喉頭領域の中央ではなく後方にありますか?
- スロートラッチとネックの間に 2 本の指を押しても、明らかに緩んでしまうことはありませんか?
- 喉の掛け金に圧力がかかると、犬は防御反応（咳をする、窒息する、頭を突き上げるなど）を示しますか? 場合によっては、スロートピースを使用しないこと、またはスロートピースの位置を変更することが合理的である場合があります。ただし、これは常に銃口全体の安定性が維持されるように行う必要があります。

### 5.3.5 喘ぎ声や口の開きからの自由

中心的なテストポイントは、喘ぎ声を出さないことです。犬は銃口をつけたまま口を開けて舌を突き出すことができなければなりません。

確認してください:

- 犬を数歩歩かせたり、少し励ましたりしてみましょう。犬は息を切らせ始めますか？
- 横顔で、下顎が上顎から離れることができる（口の開き方）ことがはっきりとわかりますか？
- バスケットの支柱の間から舌が出ているのが目に見えますか？口が最低限しか開けられない場合は、サイズ、型式、改造の見直しが必要となります。暑さやストレス下では、適切な呼吸能力が不可欠です。

### 5.3.6 しっかりとしたフィット感

銃口は、簡単に外れないようにフィットすると同時に、大きくぐらついたりねじれたりしないようにする必要があります。

確認してください:

- バスケットの前部を軽くつかみ、慎重に上下左右に動かします。通常、所定の位置に留まりますか？
- 犬は積極的に前足で鼻の上のバスケットを引っ張ろうとしていますか？ **Does he succeed?**
- 最大限の安全ソリューションが必要な場合、安全カラーとコネクタは正しく設定されていますか？損傷を与えるという明確な意図がある犬や、危険性の高い状況にある犬には、常に安全首輪と適切なコネクタを付けて使用し、首輪を外すことは事実上不可能にする必要があります。

## 5.4 安全性テストと短動作テスト

基本的なフィット感を確認したら、続いて短い動作テストを行います。

Recommended procedure:

- 犬に銃口をつけたまま数歩歩かせます。
- 方向を変えて、動いたときに銃口がどのように動作するかを確認します。
- 座ったり、少し立ち上がったたりして、ベルトの位置と安定性を観察します。銃口は大きく滑ってはならず、繰り返し目に向かって滑ってはならず、犬が動くときに明らかに邪魔をしてはいけません。

## 5.5 典型的なフィットの問題と修正

一般的な問題と考えられるアクション:

- バasketが目の方向にスライドします。→ スロートストラップを正しく調整または補充し、必要に応じてオーバーヘッドストラップを使用し、必要に応じてヘッド接続がより優れた別のモデルを選択してください。
- 鼻が切れたり、非常に赤くなったりします。→ ノーズパッドを調整（広げる/長くする）、オーバーヘッドストラップを挿入する、モデルの選択（ノーズクリアランス）を確認する。
- 犬はほとんど喘ぎません。→ サイズを確認し、必要に応じてより大きいか深いBasketの形状に変更し、パンティング係数（超小型犬の場合は 1.5 または 1.3 ~ 1.4）を再確認します。
- マズルは簡単に取り外し可能です。→ ストラップの誘導を最適化し、首と喉のストラップを再調整し、安全首輪を追加し、必要に応じて、操作性の高い犬のために、より適切な頭部接続を備えた別のBasketの形状を選択します。

## 5.6 飼い主の日常生活におけるチェックリスト

飼い主には、日常生活で使用できる、シンプルでわかりやすいチェックリストが必要です。これは技術的なチェックリストよりも大幅に短い場合がありますが、最も重要なポイントが含まれている必要があります。

短いチェックリストの例:

- 目に影響を与えない - Basketが目に触れず、視野を大幅に制限しません。
- ノーズフリー - ノーズブリッジとBasketの間にはまだスペースがあり、永続的な摩擦を引き起こすものではありません。
- あえぎの可能性 - 犬は口を開けて、目に見えてあえぐことができます。
- スロートフリー - スロートラッチが喉頭に引っかからず、窒息しません。
- しっかりとフィットします - Basketは簡単に外れたりねじれたりすることはありません。

## 5.7 使用ごとに5秒間のチェック

詳細なチェックリストに加えて、所有者は毎回の使用前に実行できる非常に短い日常的なチェックを提供できます。

## 5秒チェック:

- 1. 目は空いていますか？ - 正面からざっと見てください。両目がはっきりと見えていますか？
- 2. ノーズフリー？ - 指を使って鼻梁とバスケットの間を感じてください。まだスペースがありますか？
- 3. 喘ぎ声はありますか？ - 犬が少し動いています。口を開けて喘ぐことができますか？
- 4. 喉に問題はありませんか？ - 喉のラッチを感じます: 喉が詰まっていない状態で喉頭の後ろにありますか？
- 5. しっかり座ってください？ - バスケットの前部を軽く振ります。通常、バスケットはその位置に留まりますか？

## 5.8 主要なステートメント モジュール5

- 完璧なフィット感は、安全性、快適さ、息苦しさからの解放を組み合わせたものです。
- 構造化されたチェックリストは、体系的かつ再現性のあるチェックに役立ちます。
- 圧迫ポイント、視界の制限、または喘ぎの自由の欠如は危険信号であり、真剣に受け止める必要があります。
- 飼い主には、5秒チェックなどのシンプルで明確な毎日のチェックリストとルーチンが必要です。
- リスクの高い犬には、安全首輪と適切なベルトガイドを常に使用する必要があります。

## モジュール 6 - 日常生活におけるマズルのトレーニング、慣れ、扱い方

### 6.0 モジュールの目標

このモジュールの後、参加者は次のことができるようになります。

- マズルトレーニングを少しずつ、そして積極的に積み重ねて、
- 自宅での具体的な運動計画をホルダーに提供し、
- 犬の抵抗、足の使い方、不安に対処する
- 日常の状況（バス、獣医、街中、毒餌エリア）では口輪を着用するように計画してください。
- どのトレーニングの質問をトレーナーまたは行動の専門家に渡す必要があるかを評価します。

### 6.1 マズルトレーニングの基本原則

マズルトレーニングは犬を「壊す」ことを目的としたものではなく、むしろ犬が銃口を日常生活の普通の一部として受け入れることを助けることを目的としています。最も重要な原則は次のとおりです。

- 小さなステップ: 「すべてを一度に」ではなく、小さくて管理しやすいステップで、
- ポジティブ: 銃口は良いこと（食べ物、散歩、慣れた習慣）を告げます。
- 自発的に: 可能な限り、犬がバスケット自体に滑り込む機会を与えてください。
- 短いセッション: 長くて圧倒的なセッションを1回行うよりも、1日に数回の短いセッションを行う方が良いです。
- 犬が圧倒されたら立ち止まる: 犬が激しく避けたり、固まったりした場合は、「押し通す」のではなく後ずさりしてください。

## 6.2 トレーニング段階 - お互いを知ることから日常生活まで

マズルトレーニングはいくつかの大まかなフェーズに分けることができます。犬によっては、個々のステップの完了が速くなったり、遅くなったりすることがあります。

### 6.2.1 フェーズ 1 - 銃口について知る

この段階の目的は、犬が銃口を無害なものとして認識し、好奇心を持ち続けることです。

典型的な演習:

- 部屋の中で銃口が見えますが、犬は何も起こらずに銃口の匂いを嗅ぐことができます。
- 自発的なアプローチや匂いを嗅ぐことは、静かに報酬を与えることができます（食べ物を近くに置くなど）。
- この段階では、突然「押し込む」ことはありません。スピードよりも信頼が優先されます。

### 6.2.2 フェーズ 2 - かごの中の鼻

これで、犬は積極的にバスケットに鼻を突っ込むことを学ぶはずですが、ここで最も重要な関係が現れます。銃口 = それは私にとってそれだけの価値があります。

典型的な演習:

- 食べ物はバスケットの中に保管されており、犬はそれを受け取ることができます。
- 最初のごく短時間ですが、鼻をバスケットに入れた状態で徐々に時間を延ばしてください。
- バスケットはすぐに後ろに固定されるわけではありませんが、犬が安全だと感じられるように可動性を維持します。

### 6.2.3 フェーズ 3 - ベルトを短時間閉じる

犬がリラックスしてバスケットに鼻を入れたときのみ、非常に短い時間、ストラップが慎重に閉じられます。

一般的な手順:

- 犬が自発的にバスケットに鼻を突っ込むと、アドバイザーまたは飼い主がネックストラップを 1～2 秒間閉じます。
- すぐにストラップを再び開き、銃口を取り外し、ご褒美を与えます。
- 継続時間を徐々に増やします。秒が 10～20 秒になり、その後 1～2 分になります。

## 6.2.4 フェーズ 4 - 銃口を使った移動

この段階では、犬は銃口を使って、走る、匂いを嗅ぐ、横になる、人と接触するなど、まったく普通のことができることを経験します。

典型的な演習:

- 銃口を付けたまま数歩歩き、すぐに外してご褒美を与えます。
- 強度が非常に低い日常の状況: 銃口を付けて静かな通りを庭に少し歩く。
- 犬はこう学びます: 口輪は「静止」を意味するのではなく、多くの場合、刺激的なこと（散歩）の前触れさえあります。

## 6.2.5 フェーズ 5 - 実際の日常の状況への移行

現在、銃口は実際に意図されている状況で使用されますが、それは犬が最初にそれに積極的に慣れた後でのみです。

例:

- 「待合室ですぐに銃口を付ける」のではなく、用意した銃口を持って獣医師の診察を受けてください。
- ラッシュアワーの始発ではなく、事前のトレーニングを受けてバスや電車に乗車します。
- 毒餌のホットスポット内を、摂食抑制調整と並行して摂食抑制トレーニング (中止信号) を使用して歩きます。

## 6.3 報酬戦略とフィード管理

適切な報酬を与えると、マズルトレーニングがはるかに簡単になります。同時に、特に銃口の安全性と目的を考慮する必要があります。

アンチシーズ変換。

重要な点:

- バスケットを通りやすい、柔らかく飲み込みやすいフードを使用してください。
- 最初は、非常に頻繁に報酬を与えることができます (ほぼすべてのアプローチ、すべての自発的な鼻接触)。
- 後で目標を絞った方法で報酬を使用します。例えば。装着中に静かに立っているとき。
- 食品保護を転換する場合、いつどのように報酬を与えることが可能であるか (例えば、定義された給餌ハッチを通じて) 決定を下す必要があります。

## 6.4 「足を離す」 - 銃口の引っ掻きに対処する

多くの犬は最初は前足で銃口を外そうとします。これは学習プロセスにおける一般的な通常のステップです。重要なのは、人々がそれにどう反応するかです。

目標:

- 犬は銃口を足で踏みつけることは「何の役にも立たない」ことを学びます。
- 銃口を向けた冷静な行動は報われます。

考えられる戦略:

- 犬がまだ反応する間だけ着用させてください。過剰に引っ掻いてしまう前に、短時間のセッションを行う方が良いでしょう。
- 足が銃口に向かうとすぐに、簡単に気をそらします（短い運動、数歩歩く）。
- 声や食べ物で意識的に静かな段階を確認します（「すごい、いいですね」）。
- 大きなダメージを与えようとする犬の場合: 口輪を付け、動き続け、静電気で引っ掻く余地を残さないようにしてください。ここでは安全が最優先です。

## 6.5 着用時間、休憩、観察

犬が一度にどのくらいの時間口輪を装着できるかは、健康状態、天候、緊張、フィット感によって異なります。したがって、定額料金の時間はあくまで目安です。

一般的な推奨事項:

- 最初は非常に短い時間（数秒から数分）だけ着用し、その後はゆっくりと着用時間を増やしてください。
- 暑いときは、非常に長いミッションを1つ行うよりも、短いミッションをいくつか実行する方が良いでしょう。常に自分の息切れ能力に注意してください。
- 長期間使用した後は、接触部分の皮膚と毛皮（赤み、擦れ）を確認してください。
- 炎症が見られる場合: 着用を中止し、原因（フィット感、素材、期間）を確認してください。

## 6.6 特別なトレーニングのケース

状況によっては、銃口のトレーニングと使用に特別な要求が課せられます。損害を与える意図を持った犬 明確に損害を与える意図を持った犬に関しては、安全が最優先されます。これは、銃口と、必要に応じて安全環が確実にフィットする必要があることを意味します。トレーニン

グは管理された条件下で行われ、多くの場合、資格のあるトレーナーまたは行動獣医師と協力して行われます。獣医の診察 獣医の診察は、多くの犬にとって特にストレスのかかるものです。銃口が事前に適切にセットアップされていればいるほど、実際に発生する追加のストレスは少なくなります。飼い主は、車で練習場に向かう前に、自宅でマズルを装着することを奨励する必要があります。毒餌エリア 毒餌のリスクが知られているエリアでは、給餌防止機能を備えた銃口が命を救う可能性があります。同時に、犬が長期的に地面にある食べ物に向かって動かないことを学習できるように、停止信号と反食トレーニングを常に並行して行う必要があります。

## 6.7 飼い主向けのトレーニング計画と宿題

所有者は、明確な書面による指示から恩恵を受けることができます。シンプルな週次計画を立てれば、順調に進むことができます。

例「第1週 - 基本」:

- 1~2日目: お互いを知る - 銃口が見え、犬は近くで食べ物を受け取ります。
- 3~4日目: バスケットに鼻 - 5~10回の非常に短い繰り返しで、それぞれにバスケットにおやつが入っています。
- 5~7日目: 最初の短い閉じの試行 - ストラップを1~2秒間閉じてから、再度開き、ご褒美を与えます。さらに週を建設的な方法で構成することもできます（期間を長くする、動きの最初のステップ、銃口を付けて毎日の短い散歩を始めるなど）。コンサルタントは、個々の状況に適応した標準化された配布資料を作成できます。

## 6.8 主要なステートメント モジュール 6

- 適切なマズルトレーニングは、犬のペースに基づいた、スモールステップで積極的なものです。
- 犬は銃口を罰としてではなく「普通」として経験すべきです。
- 足に対処したり、足を払いのけようとしたりすることは、単なる「不服従」ではなく、訓練の一部です。
- 装着時間、天候、健康状態によって、一度にどれくらいの時間マズルを装着できるかが決まります。
- 飼い主には、学んだことを実践するための明確で実践的なトレーニング計画と宿題が必要です。

## モジュール7 - 材料チェックと変換措置

### 7.0 モジュールの目標

このモジュールの後、参加者は次のことができるようになります。

- 一般的なマズル材質の長所と短所を分類すると、
- **Canisegros** がオリジナルのバイオタン、パッド、ステンレススチールに依存している理由を説明し、
- 適切な基本モデルを使用しても変換が理にかなう理由を所有者にわかりやすく説明します。
- 典型的な変換措置の名前 (ベルト、パッド、発作防止、追加のストラップ)、
- 溶接作業後に粉体塗装が必要な場合と、ブックネジにロックタイトが重要な理由を理解してください。

### 7.1 銃口の共通標準材質

市販の銃口の多くには、革ストラップとフェルトパッドが付属しています。一看すると「クラシック」で高品質に見えますが、これらの素材には日常生活において明らかな欠点があります。革 - 日常生活の問題

- 水を吸収します - 雨が降ったり、泳いだり、草が濡れたりすると、革は水を吸収して重くなります。
- 濡れていると皮膚をより早くこすります。
- 塩分 (海、汗、道路塩) や太陽の影響で脆くなり、
- 時間の経過とともに磨耗します - 調整されたフィット感が変化し、銃口が安全でなくなり、
- メンテナンスに手間がかかります。定期的にグリースを塗ったり手入れしたりする必要があります。そうしないと破れてしまいます。フェルト - 緩衝材としての課題
- 水分や汚れを強力に吸収し、
- 濡れた場合、特に敏感肌の場合は擦れます。
- 衛生的にきれいにするのが難しい - 汚れ、唾液、細菌が素材に付着し、

- 定期的に完全に乾燥させないと、わずかに臭いが発生し始めます。これは、短期間または非常にまれな使用の場合は許容できる場合があります。しかし、定期的または毎日でも口輪を着用する犬にとって、これらの材料特性は、快適さ、衛生的、耐久性の両方の点で問題があります。

## 7.2 ビオタンおよびカニセグロ規格

Canisegros は意図的に革やフェルトのストラップを使用せず、代わりに以下のものを使用しています。

- オリジナルの **Biothane** で作られたストラップ、
- 屋外に適した柔らかいフォーム製のパッド入りノーズパッド、
- ステンレス鋼の継手。オリジナルバイオタンの利点
- 防水性 - 浸透せず、濡れても寸法安定性を保ちます。
- 滑らかな表面 - 濡れた革よりも摩擦が大幅に少なく、
- お手入れがとても簡単 - 水ですすぐだけで、汚れが素材にこびりつきません。
- 臭いがつきにくく、長期間使用しても衛生的です。
- 耐紫外線性と耐候性 - 革のようにすぐには脆くなりません。
- 寸法安定性 - 磨耗せず、調整されたフィット感が維持されます。粗悪な模造品や低品質の「Hexa」変種ではなく、オリジナルの **Biothane** を使用することが重要です。高い耐引裂性と心地よく滑らかな表面を兼ね備えているのは、高品質の **Biothane** だけです。鼻パッドとフィッティング
- 個別に調整された柔軟な屋外対応フォーム製のノーズパッドが鼻筋にかかる圧力を分散します。
- 圧迫点、摩擦、褥瘡のリスクを大幅に軽減します。
- ステンレススチール製の金具は錆びにくく、安定していて耐久性があり、濡れた状態や海の中を移動する犬に最適です。

## 7.3 たとえそれが適切であっても、変換に価値がある理由

ベーシックモデル メタルバスケットと標準ストラップ（革・フェルト）で作られたベーシックモデルは多くの犬に馴染みます。それでも、変換する価値はあります

**Biothane** ストラップと最新のパッドにはいくつかの理由があります。

- 快適さ: バイオタンは擦れが少なく、濡れていても快適さを保ち、パッドが圧力をより適切に分散します。
- 衛生的: ストラップとパッドはお手入れが簡単で、乾燥が早く、臭いの吸収も少なくなります。
- 長寿命: バイオセインとステンレススチールは、日常生活 (雨、太陽、塩分、汚れ) において革/フェルトよりも大幅に長持ちします。
- 安全性: 寸法的に安定したストラップと正しく固定されたブックネジにより、設定が確実に保持されます。
- 外観: 変更により、銃口がよりモダンで手入れが行き届いているように見えます。これは、外界に対する安全性と責任のイメージにとって重要です。重要: ストラップとフィッティングを調整した後は、必ず本のネジをネジロック (ロックタイトなど) で固定する必要があります。これにより、動きや振動による緩みを防ぎます。

## 7.4 代表的なコンバージョン施策 (概要)

以下の変換指標は特に一般的であり、実際に役立ちます。それらは次のような可能性に基づいています: B. 特殊なもの

マズル変換プログラムが提供されています。1. ベルトのバイオセインへの変換

- すべてのレザーまたはテキスタイルストラップを **Biothane** ストラップに交換します。
- 以前に測定した測定値に基づいて、スロートストラップ、ネック/クロージャストラップ、および必要に応じてオーバーヘッドストラップを個別に調整します。2. スロートストラップおよびオーバーヘッドストラップの追加または変更
- 銃口が簡単に滑り上がってしまう場合は、スロートラッチを後付けします。
- 鼻の高い犬 (ボクサーなど) のためにバスケットを簡単に持ち上げるためのオーバーヘッドストラップの取り付け。3. 安全環の取り付け
- 首の高い位置にあり、コネクターを介して銃口に接続される安全首輪。
- 銃口が完全に取り外せないようにすることは、損傷を与えようとする犬にとって重要です。
- この首輪にはリードは決して取り付けられません。リード首輪ではなく、ストッパーとして機能します。4. 鼻パッドの交換または追加
- 標準のノーズパッドを幅の狭い、通常の、または拡張されたパッドに交換します。
- 目標: ノーズブリッジとバスケットの間の距離を長くし、接触面を大きくし、圧力のピークを少なくします。5. 摂食保護と毒餌保護

- フロントバスケットエリアに目の詰まったバイオタンエレメントまたはパネルを取り付けます。
- 犬が地面にあるものをほとんど、または拾えないように部分的または完全に保護します。
- 異物を摂取する傾向が強い犬や毒餌のホットスポットに特に役立ちます。

## 7.5 溶接作業 & 粉体塗装

場合によっては、ストラップとパッドの変換だけでは銃口に最適にフィットしない場合があります。その場合、例えば溶接作業（例えば、支柱の移動、追加の支柱の使用）などにより、ワイヤーバスケット自体を修正する必要がある場合があります。原則: 溶接を行う場合は必ず、その後に粉体塗装を実行する必要があります。

その理由:

- 腐食防止 - そうしないと溶接部が錆びやすくなります。
- 表面の滑らかさ - 粉体塗装により、鋭いエッジのない均一で滑らかな表面が保証されます。
- 衛生的 - 滑らかでコーティングされた表面は掃除が簡単で、汚れや唾液が付着しにくくなります。
- 外観 - 銃口は改造後でもプロフェッショナルで手入れが行き届いています。純粋な曲げ作業 (溶接なし) には、新たな粉体塗装は必要ありませんが、慎重に行う必要があります。各手順の後、すべてのワイヤーの配線に鋭いエッジや怪我の原因がないかどうかを確認する必要があります。

## 7.6 変換の安全性と制限事項

改造によって銃口の基本的な安定性と保護効果が損なわれることはありません

影響を与える。次の点が特に重要です。

- 犬が再び噛んだり、大きな部分を飲み込んだりするような方法で支柱を取り外さないでください。
- ワイヤーやストラップを変更するたびに、銃口がまだ十分に安定しているかどうかを確認する必要があります。
- 特に条件や公的要件がある犬の場合、変更は常に明確に文書化する必要があります (写真、メモ)。

- 場合によっては、不適切なバスケットを「曲げる」よりも、別の基本モデルを選択する方が合理的です。

## 7.7 メンテナンス、ネジのロック、お手入れ

最良の変換であっても、銃口が定期的にチェックされ、メンテナンスされている場合にのみ安全を維持できます。

重要な点:

- ベルトを調整するたびに、ブックネジをネジロック剤 (ロックタイトなど) で固定します。そうしないと、ネジが緩む可能性があります。
- 定期的な目視検査: すべてのネジがしっかりと締まっているか、ベルトやバスケットに亀裂や損傷がないか確認できますか?
- **Biothane** ストラップが汚れている場合は、水 (必要に応じて中性洗剤) で洗い、フォームパッドもきれいにし、完全に乾燥させてください。
- コーティングの損傷を避けるため、パウダーコーティングされた表面には強力なクリーナーや金属ブラシを使用しないでください。

## 7.8 主要なステートメント モジュール 7

- 革やフェルトは、水を吸収し、擦れて、すぐに老化し、衛生的に保つのが難しいため、長時間着用する場合に問題が発生することがよくあります。
- **Canisegros** はオリジナルの **Biothane**、フォームパッド、ステンレススチールを使用して、快適さ、衛生性、耐久性を最大限に高めています。
- 基本モデルが適合する場合でも、変換する価値はあります。快適性、安全性、耐久性が向上します。
- 一般的な変換には、ストラップの変換、ノーズパッド、安全首輪、および摂食防止ソリューションが含まれます。
- 溶接作業後は粉体塗装が必須です。本ネジはネジロック式で固定されています。
- 定期的なチェックとケアにより、変換された銃口は長期的に安全で動物福祉に配慮した状態に保たれます。

## モジュール 8 - 法的枠組み、責任、文書化

### 8.0 モジュールの目標

このモジュールの後、参加者は次のことができるようになります。

- マズルアドバイザーとしての自分の役割と責任を明確に評価し、
- アドバイスの限界について保有者に透明性を持って通知します。
- どの点を書面で文書化する必要があるかを把握し、
- マズルアドバイスに関連する基本的な法的枠組み条件を考慮する、
- 法的アドバイスを置き換えることなく、簡単な責任と情報通知を業務に統合します。

### 8.1 重要な注意 - 法的アドバイスではありません

このモジュールでは、銃口に関するアドバイスに関連した典型的な法的問題についてのオリエンテーションを提供します。これは、法律専門家による個別の法的アドバイスや税務上のアドバイスに代わるものではありません。法律、規制、および現地の要件は変更される可能性があります。国、地域、コミュニティによって大きく異なる場合があります。

原則: マズルコンサルタントは、適用される法律、マズルとリードの要件、その他の公的要件を遵守する責任があることを常に顧客に指摘する必要があります。

### 8.2 役割の明確化 - マズルコンサルタントが何をするのか（そして何をしないのか）

マズルアドバイザーには明確に定義された役割があります。彼らは、銃口のフィット感、素材、安全面、そして動物福祉に配慮した使用方法の専門家です。原則として、彼らは獣医師でも弁護士でもありません。

マズルコンサルタントの一般的なタスク:

- モデル、サイズ、素材に関するアドバイス (ワイヤーバスケット、バイオタンストラップ、食品保護など)、

- フィッティングチェックを含む採寸とフィッティングを実施し、
- 銃口が意味があり、特定のケースにおいて動物福祉に配慮した方法で使用できるかどうかの評価、
- 銃口の限界についての教育（トレーニング、医学、管理の代わりとなるものではありません）。

銃口アドバイスタスクなし:

- 病気や行動障害を診断しないでください。
- 治癒や成功の保証を約束するものではありません。
- 特定の個別の事件に関して拘束力のある法的アドバイスを提供するものではありません。
- 公式決定を置き換えたり評価したりしないでください。

### 8.3 契約原則とビジネスモデル (概要)

マズルコンサルタントの仕事のやり方に応じて、自営業活動、商業活動、フリーランスの仕事、または協力の一環としての活動など、異なる法的分類が生じる可能性があります。具体的な登録、税務処理、契約構造については、適切な専門家のアドバイスを受けて、常に個別に明確にする必要があります。

ここで法的な形式の詳細よりも重要なことは、顧客が誰と契約を締結するのか、そしてどのようなサービスが合意されるのかを正確に把握しておく必要があるということです。

### 8.4 責任と責任の除外

銃口に関するアドバイスは常に安全性と、咬傷、物的損害、結果的損害などの損害のリスクに関するものです。だからこそ、責任についての明確なコミュニケーションが重要なのです。

原則:

- たとえ口輪をしていても、飼い主は常に自分の犬に対して責任を負い続けます。
- 銃口は怪我のリスクを軽減しますが、怪我を100%なくすことはできません。
- コンサルタントには専門家の慎重なアドバイスが必要ですが、犬の行動が成功するという保証はありません。
- 著しく不正確なアドバイスや明らかな不作為があった場合でも、責任が生じる可能性があります。だからこそ、注意、文書化、および適切な専門職賠償責任保険が重要です。

シンプルで明確な責任通知を作成し、顧客に確認してもらうことは理にかなっています。特に噛みつきや公的要件などの事件歴のある犬の場合はそうです。

## 8.5 文書化 - 何を記録すべきか

適切な文書は犬、飼い主、アドバイザーを守ります。これはトレーサビリティを保証し、疑問が生じた場合に、何が議論され、推奨されたかを示すことができるようにするために重要です。

ドキュメントの一般的なコンポーネント:

- 顧客データ (名前、連絡先詳細) - 必要な範囲のみ、
- 犬のデータ (名前、年齢、品種/ミックス、特殊な異常)、
- 歴史: 既知の咬傷事件、既存の公的要件、医学的特殊性、
- 測定レポート: すべての関連測定値 (キャッチ、ヘッド、ストラップ)、理想的には日付付き、
- 所有者が同意した場合に限り、頭の写真と、該当する場合は測定状況、
- 推奨モデル、サイズ、変更 (バイオタンストラップ、給餌防止プレート、安全首輪など)、
- 提供された情報 (例: あえぎ行為からの自由、トレーニング、毒餌の危険性、獣医師またはトレーナーの推奨事項など)、
- 相談が行われたことを示す署名または確認書、および使用説明書が説明されました。

## 8.6 一般的な法的枠組み

国、地域、自治体によっては、マズルに関するアドバイスに異なる法的要件が関係する場合があります。詳細は多くの場合複雑で、変更される可能性があります。ここでは一般的なガイドラインをいくつか示します。

- 口輪とリードの要件: 場所によっては、公共交通機関、特定の公共エリア、または特定の犬など、犬に口輪を付けるかリードを付ける必要がある場合や場所に関して規制があります。
- 個々の犬または犬カテゴリーに対する特別な要件: 一部の国や地域では、例えば噛みつき事件の後など、公的要件または特定の犬のグループに対して特別な要件があります。コンサルタントは、最新の情報は常に責任ある当局または法律専門家から入手する必要があることを指摘する必要があります。

- 賠償責任保険: 商業的または定期的に犬と関わる仕事をする人には、適切な専門職賠償責任保険に加入することを強くお勧めします。何かが起こった場合に経済的な影響からあなたを守ります。
- データ保護: 個人データは特定の目的のためにのみ処理されるべきであり、必要以上に長く保存したり、法的根拠や同意なしに譲渡したりしてはなりません。写真や特別なデータについては、必ず明示的な同意を得る必要があります。

データ保護テキスト、法的通知、契約および同意の具体的な文言については、常に法律専門家と調整する必要があります。

## 8.7 噛みつき事件を起こした犬への対処と公的要件

噛み癖のある犬や公的要件がある犬に関するアドバイスには、専門的にも法的にも特別な注意が必要です。

重要な点:

- あなた自身と他の人々の安全が最優先されます。銃口と、必要に応じて他の安全装置（リードの二重安全など）が必須です。
- 歴史は、言葉を脚色することなく、事実に基づいて簡潔に文書に明確に記録されるべきです。
- コンサルタントは、どの銃口が技術的に適しているかについてアドバイスを与えることはできますが、要件が正式に満たされているかどうかを評価する責任はなく、それは担当当局にあります。
- 追加のトレーニングと、必要に応じて行動獣医学の必要性を飼い主に指摘するのは理にかなっています。

## 8.8 注記と免責事項の文言例

次の形式は、顧客への通知がどのようなものであるかの例です。これらは完全な法的文書であることを目的としたものではなく、法的に検討および調整する必要があるテンプレートとして提供されています。

例: 責任に関する注意事項 「口輪の相談は、可能な限り適切で動物福祉に配慮した口輪を選択して適応させるために行われます。犬とその行動に対する責任は常に飼い主にあります。口輪は怪我のリスクを軽減できますが、完全に排除することはできません。」

例: 行動や治療の約束はない 「口輪の使用は犬の行動の変化を保証するものではありません。このアドバイスは獣医師の治療、行動療法、または訓練作業に代わるものではありません。」

例: 健康リスクに関する注意事項 「以前に病気（心臓、肺、呼吸器疾患、神経疾患など）を患ったことがある場合、口輪の使用については担当獣医師と調整してください。あなたの犬が以前に患っていた既知の病気についてお知らせください。」

これらのテキストまたは同様のテキストは、法的審査と特定のビジネスモデルへの適応を経て、登録フォーム、コンサルティング契約、または情報シートに統合できます。

## 8.9 主要なステートメント モジュール 8

- マズルコンサルタントは、すべての犬の行動に対してではなく、動物福祉に配慮した慎重なアドバイスを提供する責任があります。
- 役割を明確にし、獣医師、調教師、法的アドバイスと区別することが重要です。
- 適切な文書化 (データ、寸法、推奨事項、メモ) は、関係者全員を保護します。
- 銃口の要件、責任、文書およびデータ保護に関する法的要件は国または地域によって異なる場合があるため、所有者は積極的に情報を得る必要があります。
- シンプルでわかりやすい注記と免責事項は、期待を明確にし、誤解を避けるのに役立ちます。